

# 平成 26 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	消防課(署)					
基本構想	交通環境と防災対策の向上		重点的方針	3. 「安全・減災都市二宮」づくり				
分野別方針	(1) 消防・救急活動の充実強化		実施計画事業	1) 消防・救急活動事業 (No.68)				
予算等事業名	救急救助活動経費							
目的	消防・救急救助活動業務の高度化に伴い、円滑な活動と事業の充実を図り、安全・安心の町づくりを進めます。							
内容	救急救助活動業務の高度化に伴いスムーズな活動と事業の充実を図る。							
根拠法令・条例等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防組織法</li> <li>・消防法</li> </ul>							
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか								
<input type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている		<input type="checkbox"/>	③ 未実施	
②、③に対する理由								

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる			<input type="checkbox"/>	② 削減は困難			
理由								

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる			<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難			
理由								

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 計画未実施のため継続の必要性がない(休止・廃止)						
	【説明】						

## 総合評価

実績	・救急出動件数が増加傾向のなか、救急需要への対応及び救急救命士を含む救急隊員等の教育の充実強化。							
中間評価との相違点								
事業指標(数値指標)								0
前期(27年度)目標値								【目標値の根拠または数値で表わせない指標】
単位:								生命、身体、財産を守るという業務の特殊性から安全・安心な町づくりを進める。
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度					

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		3,266	2,488				
財源内訳	一般財源	3,266	2,488				
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 ・消防に関する責任は町が有するため妥当である。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 ・消防に関する責任は町が有するため、町が行わなければならない。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	A
	【説明】 ・救急出動増加傾向による業務多様化及び処置高度化に対して適切に対処している。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 ・医薬品や消耗品の適正な維持管理に努め、経費節減を実施している。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 ・円滑な活動と事業の推進が図られている。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・救急、救助隊員の専門的な知識や技術の高度化が求められることから、知識や技術を有する隊員の養成。</li> <li>・救急出動の増加、救命処置拡大による研修や病院実習等の予算措置。</li> </ul>	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	・業務の特殊性により、複雑多様化する災害に備え、各種災害を想定した訓練を計画的に行うにあたり、装備品等の整備及び日常点検等を行い災害時の対応に備える。		
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種災害を想定した訓練を計画的に行い、複雑多様化する災害に備える。</li> <li>・救急救命士をはじめ救急救助隊員に専門知識・技術の習得のため研修会等に積極的に参加させ知識・技術を習得させ署員全員で共有する。</li> </ul>		